

たった1年で 子ども達の 学力が3割アップ。

(福岡県飯塚市)



衆議院議員

みと

柿沢未途



- 1971年生まれ、江東区立数矢小、麻布中・高、東京大学法学部卒業
- NHK記者、都議2期、衆院4期
- みんなの党政調会長代理、結いの党政調会長、維新の党政調会長・幹事長、民進党役員室長、衆議院予算委員会理事などを歴任
- 厚生労働委員会、無所属議員の衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」に入会。ライフワークのエネルギー政策は政治団体「新エネルギー運動」で政策提言中。

「音読」「百ます計算」「漢字ドリル」の徹底反復でその結果が出ました。全国で真似しない手はありません。

福岡県飯塚市と言えば、旧筑豊炭田の地方にあり、五木寛之の「青春の門」で知られるかつての炭鉱労働者の街、そして炭鉱閉山により失業者があふれた街です。それゆえに低所得や生活保護世帯も多く、困難を抱えながら子育てしている家庭が多いはず。このような場所で飛躍的な学力アップができた秘密は何なのか、調べに行ってみました。

飯塚市立菰田小学校。石井幸子校長が迎えてくださいました。

石井幸子先生は、飯塚市教育委員会の指導主事だった時、「百ます計算」で有名な陰山英男先生と出会いました。多忙を極める陰山先生でしたが、飯塚市の子どもの学力を見るに見かねて協力してくださったそうです。

そして2年後、今度は自らが菰田小学校の校長として現場に出て、陰山メソッドを取り入れた学力向上の最前線に立ちました。校長1年目の平成25年度から目覚ましい成果が表れました。

その後、飯塚小学校の校長に転出。こ

こでも全国平均より大きく劣った全国学力学習状況調査の成績が、算数も国語ものきなみ3割アップ、という驚くべき成果を1年目から叩き出しています。

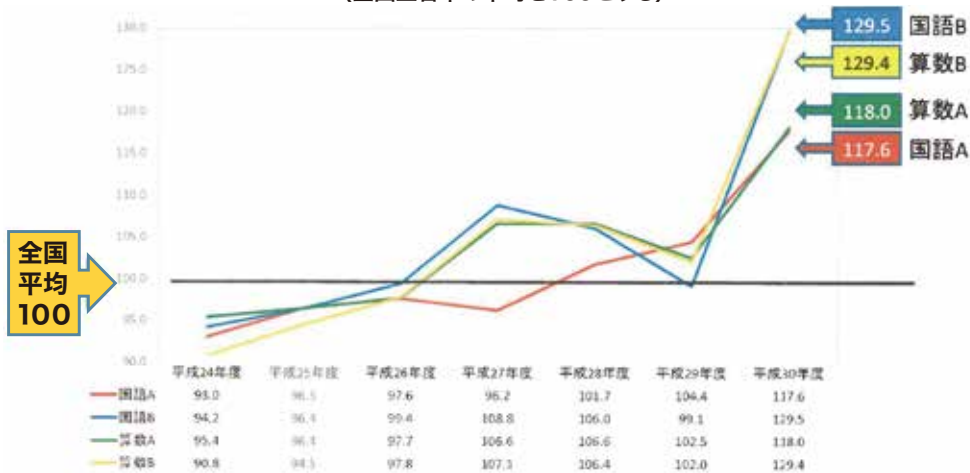
ちなみに菰田小も飯塚小も、通っている児童の3割が生活保護世帯の子ども達です。普通で言えば相当な教育困難校のはずで、現に子ども達の問題行動で授業が成り立たない学級崩壊も起きていました。そんな小学校を、全国平均を大きく上回る高い学力の小学校に、あっという間に一変させてしまったのです。

(中面へ続く→)



菺田小学校・石井幸子校長

全国学力学習状況調査の結果の推移 (全国正答率の平均を100とする)



3校目の校長が今の菺田小です。平成30年4月に校長に就任。前年度と全国学力学習状況調査を比較すると、全国平均を100とすると

- 国語 A 104.4→117.6 (+13.2)
- 国語 B 99.1→129.5(+30.4)
- 算数 A 102.5→118.0(+15.5)
- 算数 B 102.0→129.4(+27.4)

たった1年で驚異的な学力アップです。しかも基礎的な知識を問う国語 A や算数 A よりも応用力を問う国語 B や算数 B の成績の跳ね上がりが顕著であり、子ども達がより高度な学力を身につけているのが分かります。単純な百ます計算や漢字ドリルの繰り返しで、たった1年で、これほどまでの学力向上効果があるものなのでしょうか。どういう秘密があるのでしょうか。

朝は「タオル体操」から

朝8時過ぎ。飯塚市立菺田小学校。菺田小オリジナルの「タオル体操」で一日が始まります。タオルを手にして屈



伸したり柔軟したり、頭の上でタオルを回したり、タオルを持った両手を背中の側に回したり、けっこう激しいです。しかも「ハイ!ハイ!」と大きな声を出しながらです。小学校の朝と言えばラジオ体操ですが、考えるとラジオ体操はわりとスローだし黙ってやるものです。菺田小の「タオル体操」の方が、身体も頭脳もスッキリ目覚めるでしょう。

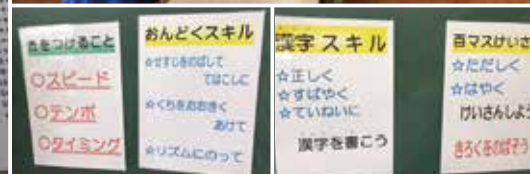
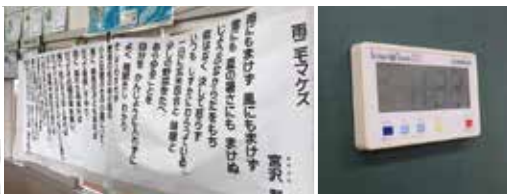
15分間の奇跡 「菺田チャレンジ」

そして朝8時30分。1年生から6年生の教室で「菺田チャレンジ」が始まります。陰山メソッドに基づく学力向上の核心となる、しかし、たった15分間の朝の時間です。

ここでもまず聞こえてくるのは子ども達の大きな声です。「アメニモマケズ、カゼニモマケズ、ユ

キニモ、ナツノアツサニモマケヌ・・・」起立して、背筋を正して、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の音読です。担任の先生の拍子木のカチ、カチ、カチ…のリズムで、テンポ良く、大きな声で音読します。この月は宮沢賢治でしたが、音読の題材は1カ月ごとに変わり、ちなみに前の月は「寿限無」だったそうです。毎日毎日、音読しているうちに、子ども達は見なくても全部スラスラ言えるようになってしまいます。

8時35分。音読から息もつかせず、席について、百ます計算に入ります。「計算始め」の先生の声で、一斉に、一心不乱に、プリントを解き始めます。シーンとした教室に、鉛筆を動かすコツコツコツ…という音だけが響きます。百ますを解き終わった子は「ハイ」と手をあげます。「1分42秒」。それを記録用紙に書きとめます。終わったら2巡目に進んで、計算を続けます。制限時間は3分間。3巡目まで入る子もいまし



た。大人の私でもとても追いつかないスピードです。

「あと10秒、5秒、3、2、1、ハイ止め！」
これで3分間の百ます計算タイムは終了。次は漢字ドリルです。すぐに取りかかります。

「漢字、30秒前」

「5、4、3、2、1、始め！」

教室はシーン、鉛筆の音だけがコツコツコツ...

「ハイ」

「1分45秒」

記録用紙にタイムを書きとめます。



音読、百ます計算、漢字ドリル、全部終了が8時45分。

わずか15分間。とてつもない集中力、そして、とてつもないスピードです。本当に驚きました。

「できるんだ」落ちこぼれゼロ

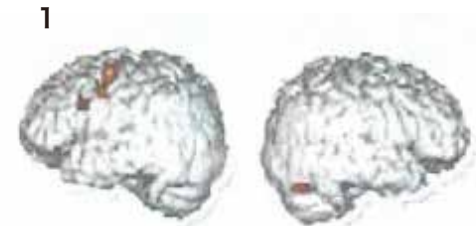
基礎・基本の徹底により、集中力を高め、脳を活性化します。これを朝一番に行なう事で、以後の学習の能率が飛躍的にアップするのです。

毎朝の徹底反復により、百ます計算ができなかったのが解けるようになり、書けなかった漢字が書けるようになり、1日1日、タイムが速くなっているのが記録用紙から確認できます。すると、子ども達が「できるんだ」と自信を持ちはじめます。学校の勉強が苦にならなくなる、というか、楽しくなります。

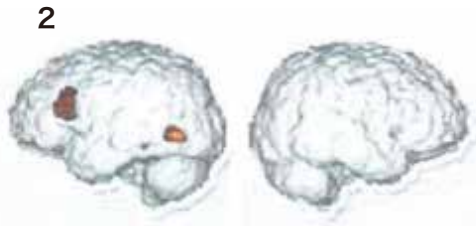
落ちこぼれは出ません。なぜならば、みんな隣りの子と比べるのではなく、過去の自分と今の自分を比べて、今の自分の進歩と成長を実感できるからです。これが奇跡のような学力向上の秘密なのです。

脳科学も“陰山効果”を実証

脳科学の裏付けもあります。1枚目の「考え事をしている時の脳」、2枚目の「複雑な計算問題を解いている時の脳」



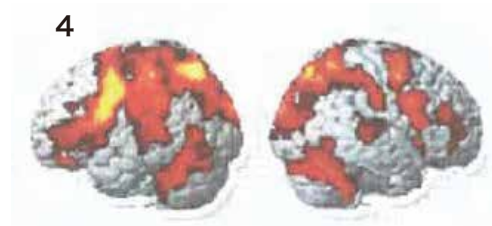
考え事をしている時の脳



複雑な計算問題を解いている時の脳



本を速く音読している時の脳



簡単な計算問題を速く解いている時の脳

とも、脳のわずかな一部しか使われていません。ところが、3枚目の「本を速く音読している時の脳」、4枚目の「簡単な計算問題を速く解いている時の脳」では、脳の広い部分が使われているのが分かります。2つを重ねてみると、見事なまでに、使われている脳の部分が相互補完的だと分かります。

つまり、「簡単な計算を速く解く(=百ます計算)」「速く音読」の徹底反復が脳を鍛える効果は、脳科学からも示されているのです。

どこでもできる! 学力アップ

石井幸子校長の菰田小の教育実践は、どれを取っても難しい事は何もなく、高価な教育機器も必要ありません。必要なのは、陰山メソッドのプリント教材と、タオル体操用のタオルぐらいです。誰にでもできる事の徹底反復によって、わず

か1年で驚異的な学力向上の成果を収め、それは学力テストの結果としてエビデンスが歴然と示されているのですから、例えば江東区でも見習わない手はありません。実際に同様の取り組みで学力アップの成果をあげている自治体が次々に出てきています。

菰田小の子ども達を見て気付いた点がありました。きびきびと、一条乱れず、高い集中力とスピードで勉強しているのですが、学級委員長みたいなリーダーの子はいないのです。担任の先生の「始め!」「止め!」も、子ども達への指示や命令というより、合図のようなものです。「誰かに従わされている」という感じが全くないのです。みんな自分から意欲を持って能動的に動いています。徹底反復により自分が向上しているという手応えを子ども達自身が感じているからでしょう。その意味でも理想的な教育をしていると思いました。

どんな地域に、どんな家庭に生まれても、子ども達は無限の可能性を持っています。子ども達の持っている無限の可能性を引き出し、伸ばしていくのが学校教育です。やればできるのです。それを私達に教えてくれているのが飯塚市の取り組みだと感じました。



原発ゼロと自然エネルギー立国へ 小泉純一郎元総理と握手!



今や「原発ゼロ」を力強く語るオピニオンリーダーとなった小泉純一郎元総理の講演会が文京シビックセンターで開催されました。1800人の会場は超満員でした

総理の時、原発は①安全 ②コストが安い ③クリーンだと官僚から聞かされていました。全部ウソだったと気付いた。3.11の原発事故の時だった。それで「原発ゼロ」の講演を全国で始めるようになった。

この期に及んで経産省は2030年代の原発依存度を20~22%と言っている。かつて30%だった時に原発40基が国内で稼働していた。これからそうするのか。

3.11からたった8年で日本の自然エネルギーは2%から15%まで来た。政府がやる気がなくてもここまで来たのだ。この間、ドイツの自然エネルギーは40%になった。政府が音頭を取れば原発の30%を自然エネルギーに置き換えるのは簡単にできる。

77歳の小泉元総理、情熱を込めて、90分間、立ったままの講演でした。

「私達にできる事は?」と小泉元総理に司会者から質問が投げかけられました。

「そりゃあ、原発ゼロと言っている政治家を応援して、選挙に勝たせる事だ。選挙の争点になれば原発ゼロの候補者が選ばれるに決まっている!」

私にも激励を頂きました。

小泉元総理とともに「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟（原自連）」を設立し、会長をつとめている吉原毅・城南信用金庫元理事長をゲストにお招きして、江東区でも6月11日（火）夜に「RE:100（自然エネルギー100%）の日本へ」をテーマとする講演会を開催します。ぜひ聞きにいらしてください。



RE 100

New Energy Movement 新エネルギー運動 講演会

衆議院議員 柿沢未途後援会 総会 2019

日時・2019年6月11日(火) 開場 18:00 開会 18:30

会場・ホテルイースト21東京 1F 大ホール

東京メトロ東西線「東陽町駅」1番出口より徒歩5分 江東区東陽 6-3-3 ☎03-5683-5683

会費・3,000円

※当日は、軽食のご用意があります。
*この会は政治資金規正法8条2項の政治資金パーティーです。

主催：新都市経済研究会 お問合せ：柿沢未途事務所 江東区富岡1-26-21-3F ☎03-5620-3104

【江東区議会議員選挙のご報告】2019年4月21日投票

今回の江東区議会議員選挙で、柿沢未途が応援させて頂いた11人の皆さんが当選されました。区議会第2会派「民政クラブ」としてチームを組んで活動されます。引き続きのご支援を宜しくお願い申し上げます。



白岩忠夫さん



新島つねおさん



福馬えみ子さん



徳永まさひろさん



いたつ道也さん



鬼頭たつやさん



じんのゆずるさん



鈴木あやかさん



吉田要さん



やしきだ綾香さん



酒井なつみさん

鈴木きよとさんへのご支援もありがとうございました。